4

まちを見る目を養おう　～真野のまちあるき①～

日時：令和３年１１月２０日（土）　１０：００～１６：００
場所：大津市立真野公民館、真野学区内
受講生：１５名
講師：龍谷大学政策学部教授　只友　景士 氏
協力：真野学区自治連合会副会長　西上　清紀 氏
　　真野学区文化振興会会長　北居　明美 氏
　　他　９名の真野学区の皆さん
　　龍谷大学只友ゼミ生２２名
　　小松支所長　金森　聖之 氏
　　真野公民館館長　川端　智之 氏

【講座内容】
〇開会あいさつ（大津市教育委員会　島崎教育長）・開会諸注意、自己紹介
〇地元あいさつ（自治連合会副会長　西上 氏）、学区の概要説明（地元市議会議員　笠谷 氏）
〇講義：只友教授（理論学習①「まちを見る目を養おう」　～真野のまちあるき～）
〇現地調査①：真野学区のまち歩き　ー真野家田、真野谷口周辺ー（文化振興会会長 北居 氏）
〇グループワーク①：気づきの整理、発表

【概　　要】
　真野学区自治連合会副会長西上様からあいさつを、地元議員笠谷様から学区の概要について、龍谷大学只友教授から「まちを見る目を養おう」の講義の後、真野学区文化振興会会長北居様の案内で真野家田、真野谷口周辺を巡った。地元の歴史や遺跡、くらしの文化等について学びを深めた。現地調査後のグループワークでは、龍谷大学只友ゼミ生も交えて気づきの整理を行った。

【受講生のことば】
　まち歩きを通じて発見と気付きがあった。発見では、真野川を中心とした稲作の始まり、集落の形成、くらしの成り立ちがあることを発見。気付きでは、何気に見過ごしていた地元を、一人ひとりが「歩く」ことでそれぞれに発見があることに気付かされた。
　昔ながらのくらしを継承しているところ、新しく変化をしていくところと、歴史の流れを実感した。　（三谷　敬三 氏）

【当日の様子】

理論学習

真野のまち歩き

グループワーク